

# 幻のセンター入試教科

## 「オリエンテーリング」問題入手！

村越 真

先月の半ばに、恒例の大学センター入試が行われた。2002年の学習指導要領改訂により、教育目標の柱に「生きる力」が据えられたことは有名であるが、生きる力の育成にオリエンテーリングが最適であるという判断から、文部科学省では密かに、センター入試教科「オリエンテーリング」の実施が検討され、試行問題までつくられていた。オーマガジン編集部では、その極秘問題を入手した。以下に示すのがその幻の問題の一部である。

【問1】 以下の言葉は、世界選手権で2連覇したノルウェーのエーギル・ヨハンセンの言葉である。その真意にもっとも近いものはどれか。ただし、いいものを選べ。  
It is not always the best runner that wins, but the one who is best prepared!

勝つのはいつでも強いやつであるから、強いものになる必要がある。強いやつがいつでも勝つとは限らないので、実力が劣っても頑張るべきだ。いくら強くても、試合に十分な準備をしなければ勝つことはできない。スウェーデン人は強いが、勝つのはノルウェー人だ。本命視されている最強の選手は必ず負けるものだ。

【問2】 オリエンテーリングの歴史について、以下の記述のうち間違っただのものを一つ選べ。

- (1) 日本で最初のオリエンテーリングは、1966年東京の高尾山で「徒歩ラリー」の名で行われた。
- (2) 日本で最初の全日本大会は、1975年に埼玉県飯能市で行われた。
- (3) 日本人初の世界選手権参加は、

1978年の山岸倫也たちである。

- (4) 日本人が作った最初の本格的通行可能度入りの地図は1975年に飯能で作られた。
- (5) 世界初のオリエンテーリングは、1897年にノルウェーで行われたとされている。

【問3】 古来、哲学者は密かにオリエンテーリングについての思索を深めてきた。

以下の記述と哲学者および書籍の組み合わせのうち正しいものはどれか。下の～から一つ選べ。

- (a) 私が地平線を眺める場合、それは私がそこまでいって見えるであろう別の風景を私に想到させる
- (b) 森の中で迷っても、まっすぐ進み続けるべきだ。そうすれば、必ずどこかに出るのであろう
- (c) われわれは地図の助けを借りて方位を見出すとき、地図の表出する地域の理解を得、この概念により未限定数の道程を見出すことができる

- (ア) デカルト、方法序説
- (イ) メルロ・ポンティ、知覚の現象学
- (ウ) ボラニ、個人的知識

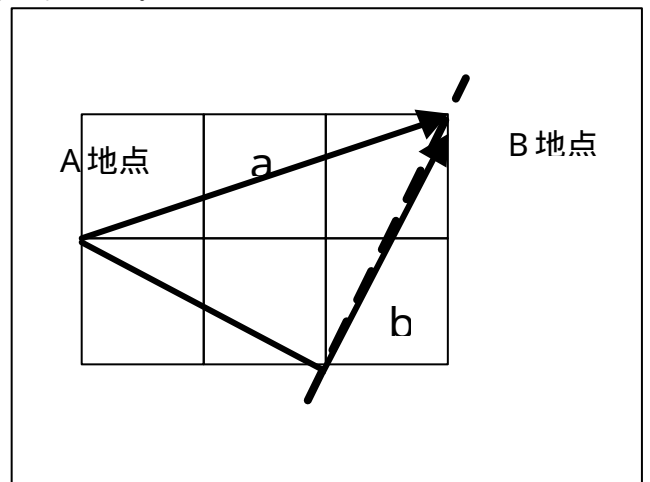
- aア bイ cウ
- aイ bア cウ
- aウ bア cイ
- aウ bイ cア

【問4】 真理子さんと浩二さんがA地点からB地点にこうとしています。直進(a)と迂回(b)どちらが早いでしょうか。林の中はCやぶですが、通行可能度は真理子さんの場合小径の走行スピードの40%であり、筋力のある浩二さんの場合

は45%であった。升目は1辺が50mの正方形である。

真理子さん浩二さんともaの直進が早い  
真理子さん浩二さんともbの迂回が早い  
真理子さんの場合はbの迂回が早い  
浩二さんの場合はaの直進が早い  
真理子さんの場合はa bともに同じだが  
浩二さんの場合aの直進が早い。

二人とも、a bどちらでも同じ



【問5】 以下の位置説明のうち、規則上間違っているものはどれか。1, 2, 3, 4のコントロール番号で答えよ。

ME		0.190			
1	31	♂	≡	♀	
2	32	♂	~	♀	♂
3	33	▲	●	≡	
4	34	●	≡	♀	

### 答え

- 問1 有名なせりふである
- 問2 最初の世界選手権参加は76年に杉山隆司
- 問3 古典に親しもう
- 問4 迂回と直進の作る図形は直角二等辺三角形
- 問5 こぶは地表面より上なので、「ふち」記号でなく「側」記号を使う (村越 真)